

平成27年度教育研究活動報告書

氏名	高山 毅	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士(工学)	職位	教授
専門分野	観光情報学、活用指向データベース設計、データベースと連動したプログラミング		
I 教育活動			
本年度担当科目			
	授業科目		
学部	プログラミングII プログラミングII実習 データベース 基礎演習I 専門演習I 専門演習II プログラミング実習 情報活用基礎II		
大学院	情報技術特論 プログラミング特論		
II 研究活動			
これまでの主な研究業績(5件まで)			
〈著書〉〈展覧会〉〈論文〉〈翻訳〉〈学会発表〉〈学術表彰〉〈その他〉			
(1) 〈論文〉“プローブパーソンによる集合知を用いた路面凍結情報提供方式の提案と評価”, 情報処理学会論文誌, Vol.49, No.7, pp.2549-2573, 2008.			
(2) 〈論文〉“An Efficient Method for Odor Retrieval,” Springer LNAI (Lecture Notes in Artificial Intelligence)6889, Springer-Verlag Berlin Heidelberg, pp.160-172, 2011.			
(3) 〈論文〉“Web文書のページタイプを用いた適応的分類と試作システムの評価”, 日本知能情報ファジィ学会誌「知能と情報」, Vol.18, No.2, pp.319-336, 2006.			
(4) 〈論文〉“固定数の感性語対の値の組合せによる音楽データベース検索のためのインタフェース'2D-RIB” , 日本データベース学会論文誌DBSJ Letters, Vol.3, No.4, pp.29-32, 2005.			
(5) 〈論文〉“Personalization by Relevance Ranking Feedback in Impression-based Retrieval for Multimedia Database,” Journal of Systematics, Cybernetics and Informatics, Vol.3, No.2, pp.85-89, 2006.			
本年度を含む過去3年間の研究業績			
〈著書〉〈展覧会〉〈論文〉〈翻訳〉〈学会発表〉〈学術表彰〉〈その他〉			
(1) 〈学術論文〉“On Picking up Method of Expectable Customers in Recommendation,” NAUN International Journal of Systems Engineering, Applications and Development, Vol.7, Issue 1, pp.13-21, 2013.			
(2) 〈学術論文〉“Improvement of Recommendation List Effectiveness Using Familiarity,” NAUN International Journal of Systems Engineering, Applications and Development, Vol.7, Issue 1, pp.22-32, 2013.			
(3) 〈学会発表〉“携帯端末上でのソーシャルメディア向け超軽便レコメンデーションの開発に向けて”, 第59回システム制御情報学会研究発表講演会 (SCI'15)講演論文集, 153-4, 2015.			
(4) 〈学会発表〉“観光資源の特性分類を利用した広域観光地選定支援”, 情報処理学会第78回全国大会講演論文集, 2ZA-4, 2016.			
(5) 〈学会発表〉“アミューズメントパークにおける隙間時間の活用支援”, 情報処理学会第78回全国大会講演論文集, 2ZA-8, 2016.			
(6) 〈学会発表〉“道の駅の拠点化を支援するシステム”, 情報処理学会第78回全国大会講演論文集, 2ZA-5, 2016.			
(7) 〈学会発表〉“尾道再訪誘導案内システム”, 情報処理学会第78回全国大会講演論文集, 2ZA-3, 2016			
(8) 〈学会発表〉“尾道市におけるお土産購入プランニングシステム”, 情報処理学会第78回全国大会講演論文集, 2ZA-7, 2016.			
(9) 〈学会発表〉“観光地におけるトイレの詳細情報を提供するシステム”, 情報処理学会第78回全国大会講演論文集, 2ZA-6, 2016.			
現在の研究テーマ(3つまで)			
(1) データベースを用いた観光情報システム			
(2) データベースからの知識発見, レコメンデーション			
(3) ITS(高度交通システム)のためのデータベース			
学会、所属団体における活動 (本年度を含む過去3年間の研究業績)			
所属学会・所属団体 役職等			
情報処理学会、電子情報通信学会、日本データベース学会、ACM、IEEE Computer Society、人工知能学会、観光情報学会、ITS Japan、地理情報システム学会			
IV 社会活動			
1. 学外活動(本年度1年間の活動状況)			
(1) 元松下電器ETC特別プロジェクト室室長、現東京理科大学大学院特別講師の野崎敬策先生を招いて、特別講演会:「道路交通系ITの話」を11/27(金)に開催し、一般市民へも公開した。			